

タイ国の原生らん

仙 頭 照 康

ま え が き

東南アジアはらんの豊庫で、それらの原生地の環境、自生状態及びその特性についての現地調査は、らん栽培上参考になる点が多い。北部スマトラの概要については、既に農場報告第5号(1984)で紹介した。

引続き北部タイの原生らん調査のため、1984年3月下旬、チェンマイ西北部の山岳地帯に入る機会を得た。当初の計画ではビルマ、ラオスとの国境一帯にまたがるいわゆる“黄金の三角地帯”の奥深く入込む予定であったが(Fig.1参照)、チェンマイ滞在中、折悪くこれらの地域の山岳部族間で発砲事件が起こり、さらにチェンマイ市内でも、宿泊のホテルからわずか1000mの場所で、爆破騒ぎが加わったので、案内を依頼していた現地の警察側が同行を渋った上、事故から守る保障は出来ないとの通告には、いかんともし難く、奥地への踏査は断念せざるを得なかった。このせっかくの機会をのがすのは残念であったが、やむを得ず急きょ予定を変更して、チェンマイ西北のドイブイ付近を中心に調査を行った。

1. 北方タイの概況

タイの北部及び西北部の高地や谷間には、今なお少数の山岳種族の集落が散在している。彼らは自主独立の精神が強く、バンコクが要求するタイ化をきらっている。チェンマイ種族センターの調査によれば、山岳種族の総数は、361,811人(1979)と推定されている。このうちカレン族が最も多く54%を占め、続いてメオ族11%、ラウ族9%、ヤオ族7%、ティン族及びアカ族各5%、リス族4%、ラワ族3%、カム族2%の順である。大部分の種族はビルマ、ラオス、中国南部、チベット高原から移住したといわれる。

この地域で移動耕作を行っている種族は、標高500m付近の山地に住むカレン、ラワ、カム、ティンの諸族で、彼らは山林を伐採して耕作を行っている。標高約1000mの高地一帯にはメオ、ヤオ、ラウ、アカ、リスの諸族が住み、このうちメオ、ヤオ、リスの各種族は

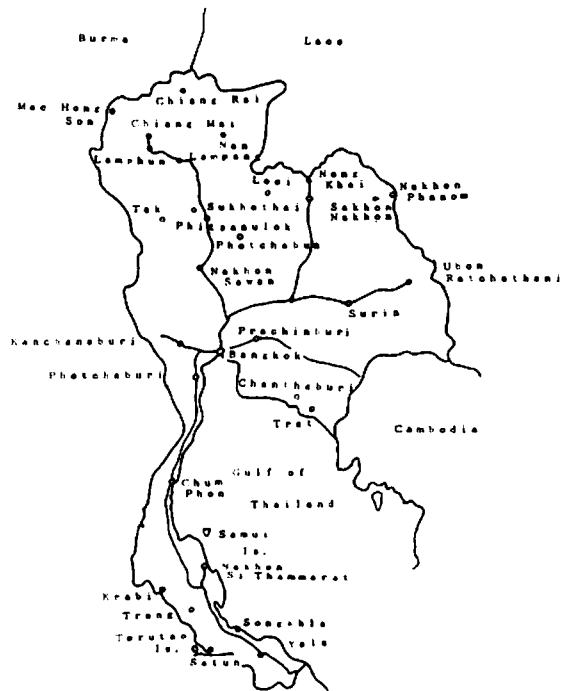


Fig. 1. Location Map of Thailand

ケシ栽培で生計の糧を得ていることで知られている。彼らの団結は強く、ケシ栽培並びにアヘン輸送のため、近代兵器で武装した私兵を持ち、種族間の均衡を保っている。

ラウ族などが行っている焼畑農業は、原始的な略奪農法で、まず森林を伐採し、火入を行った後、掘棒で穴をあけ、短期間陸稻などを栽培し、土地がやせると放棄して、他の場所に次から次へと移動する。この方法は1年目は高収量が得られるが、翌年以降土壌が浸蝕されて荒廃する。もとより森林はそこなわれ、自然の植生も破壊されるので、その後長期にわたって自然林への復元は困難となり、耐火性の落葉樹木やわい性のイネ科植物などにおおわれるようになる。北方タイの大部分は、かつて常緑広葉樹林で占められていたが、焼畑のほか、新しい道路の建設、特産のチーク林の濫伐及び家畜の放牧などのため、自然破壊をもたらし、水資源の保全能力を低下させると共に、原生林は減少を続けているので、その生態系のバランスはかなり危険な状態に進みつつある。このことはとりも直さずらん原生地を荒廃させることになり、今や価値の高い野生らんの入手は、ビルマ国境近くの奥深い密林に踏込まなければ困難となり、また入山容易な地域でも、その自生数は濫獲も加わって減少の一步をたどっている。

2. タイの気象

タイは典型的な熱帯季節風地帯で、夏季は南西風が雨を伴い、冬季は北東の風になり、3～4月のモンスーン直前の乾燥する暑い季節は比較的風向が一定しない。モンスーンは大まかに雨季と乾季に分ける。雨季は5～10月で、インド洋から暖かい風が運ばれ、大量の雨が降る。まとまった雨は7～10月に多く、この時季河川のはん濫が起こることも珍しくない。乾季は11～4月で、中でも11～2月は北東の季節風が中国大陸より冷気を吹付ける。年中高温で雨季の直前から6月ごろまでが特に暑い。年間平均気温は南部で約28℃、北部で約25℃である。総じて年間の気温差が小さいのが特色である。

Table 1にバンコク、Table 2にチェンマイにおけるそれぞれの気象観測所が記録した30年間平均の気象データを示した。これによると平均気温はチェンマイではバンコクより2～3℃低く、最高温度は両地区共4月である。1975年3月から1976年6月まで、チェンマイにおける気温と雨量をFig. 2に示した。これによると最高温度は26.84℃で、最低は0.83℃であった。らん自生地のチェンマイ北部及び西北部の山岳地帯は、これより幾分低温になると思われる。

平均年間降水量はバンコクで1458.2mm、チェンマイで1260.1mmである。雨量の最多月はいずれの地区も9月で、最少月は前者が12月、後者が2月である。南部の雨季はその降水量から見て、その他の地区より幾分あとへずれる傾向がある。スコールは南部では3～9月にわたるが、北部では4月である。

年間降水日数は南部で130日、北部で120日で、前者は9月、後者は8月が最も多い。

湿度は全般に高く、南部で73.0～84.0%、年平均78.0%、北部で59.0～83.0%、年平均74.0%である。雨季には両地区共90.0～94.5%になり、最高は南部で9月の95.3%、北部で9、10月の94.5%である。最低は南部で1月の49.2%、北部で3月の31.5%である。

日照時間の月平均は南部で155.0～280.8時間、年間2704.5時間となり、1月が最も多く、9月

Table 1. Climatological data for the period 1951--1980
Bangkok Metropolis Meteorological Observing Station

Content	Item	Month												Year
		Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	
Temperature (°C)	Mean	25.6	27.2	28.6	29.6	29.1	28.6	28.1	27.8	27.6	27.5	26.6	25.5	27.7
	Mean max.	31.9	32.7	33.8	34.9	34.1	33.0	32.5	32.2	31.9	31.7	31.3	31.3	32.6
	Mean min.	20.6	22.8	24.6	25.7	25.4	25.1	24.8	24.7	24.4	24.3	22.8	20.7	23.8
Relative humidity (%)	Mean	73.0	76.0	77.0	77.0	79.0	79.0	80.0	81.0	84.0	83.0	79.0	74.0	78.0
	Mean max.	91.6	92.9	92.5	91.4	93.2	92.5	92.5	93.7	95.3	95.2	93.4	91.4	93.0
	Mean min.	49.2	53.6	55.4	55.9	60.7	63.0	64.2	64.6	67.2	66.6	60.2	52.7	59.4
Rainfall (mm)	Mean	10.3	30.7	23.7	63.5	185.3	159.8	170.7	198.2	341.8	221.3	44.0	8.9	1458.2
	Mean rainy days	1.7	3.0	3.3	6.2	15.6	16.7	18.3	20.6	21.3	16.7	5.5	1.4	130.3
Number of days with	Haze	22.8	22.0	23.0	17.5	11.9	11.5	12.1	11.3	11.1	12.3	13.8	18.9	188.2
	Fog	5.3	3.1	2.4	1.2	1.3	0.1	0.4	0.1	0.0	0.3	0.8	1.4	16.4
	Thunderstorm	0.6	1.3	3.2	8.1	15.5	10.7	10.0	11.0	15.8	14.0	3.1	0.7	94.0
	Squall	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.3
Sunshine duration (hr.)	Mean	280.8	254.1	272.3	261.2	225.5	189.6	171.6	165.2	155.0	209.7	249.5	270.0	2704.5
Cloudiness (0-8)	Mean	4.7	5.2	5.4	5.6	6.6	6.8	6.9	7.0	7.2	6.5	5.3	4.7	6.0
Wind (m/s)	Prevailing wind	NE	S	S	S	S	S	SW	W	W	NE	N	NE	—
	Mean wind speed	1.8	2.6	3.0	2.9	2.3	2.4	2.3	2.3	1.9	1.7	1.8	1.7	—
	Max. wind speed	15.8	18.9	24.5	28.6	21.4	21.9	21.9	23.0	22.4	20.4	23.0	15.8	28.6
		NNF	N	ENE	E	W	S SW	SW W	WNW	SSW	NE	ENE	NNE SE	E

Remark: 1. Sunshine duration 1956-1980

Table 2. Climatological data for the period 1951-1980
(Chiang Mai Meteorological Observing Station)

Content	Item	Month												Year
		Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	
Temperature (°C)	Mean	20.1	22.2	25.7	28.4	28.0	27.2	26.8	26.3	26.2	25.5	23.5	20.8	25.1
	Mean max.	28.9	31.9	34.8	36.1	34.1	32.3	31.6	30.7	31.0	30.8	29.8	28.5	31.7
	Mean min.	13.2	14.1	17.5	21.4	23.3	23.6	23.4	23.2	22.9	21.6	18.7	14.9	19.8
Relative humidity (%)	Mean	74.0	65.0	59.0	60.0	73.0	79.0	81.0	83.0	83.0	81.0	79.0	77.0	74.0
	Mean max.	94.2	90.5	84.3	83.5	90.0	93.1	93.4	94.3	94.5	94.5	94.2	94.4	91.7
	Mean min.	43.1	33.9	31.5	37.6	51.8	60.7	62.7	66.6	64.9	60.1	53.9	48.5	51.3
Rainfall (mm)	Mean	12.3	6.8	19.0	49.9	165.5	146.4	180.4	240.8	254.8	130.3	35.4	18.5	1260.1
	Mean rainy days	1.5	1.0	2.3	5.6	15.3	16.7	19.2	22.6	18.0	11.1	4.6	2.1	120.0
Number of days with	Haze	27.3	27.4	30.3	25.5	6.7	0.4	0.4	0.4	1.8	7.8	13.0	19.5	160.5
	Fog	5.5	3.8	5.1	4.6	2.1	0.1	0.0	0.1	0.2	3.4	8.7	9.4	43.0
	Thunderstorm	0.4	0.6	3.7	10.4	18.5	9.3	9.2	10.5	13.0	8.8	1.4	0.3	86.1
	Squall	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
Sunshine duration (hr.)	Mean	267.0	269.5	284.2	271.5	239.7	172.5	144.6	139.2	207.4	227.7	238.4	255.9	2717.6
Cloudiness (0-8)	Mean	2.4	1.9	2.1	3.3	5.6	6.6	6.9	6.9	6.4	5.1	4.8	3.2	4.6
Wind (m/s)	Prevailing wind	S	S	S	S	S	S	S	S	S	N	N	N	-
	Mean wind speed	0.9	1.2	1.4	1.8	1.7	1.5	1.3	1.2	1.2	1.1	0.9	0.8	-
	Max. wind speed	23.0	27.5	27.5	32.1	32.6	21.9	19.4	28.6	26.5	17.3	15.3	21.4	32.6
		N	W	S	SE	N	WSW	WSW	N	N	E	NE	E	N

Remark: 1. Temperature 1952-1980
2. Sunshine duration 1954-1980

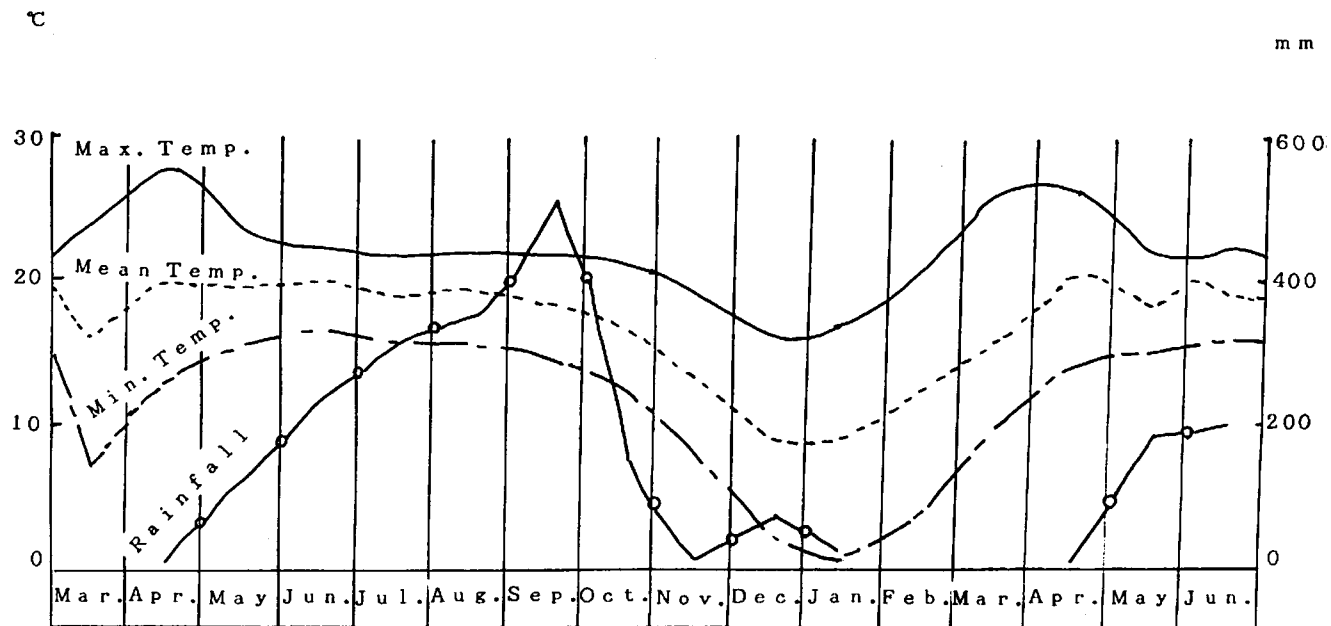


Fig. 2. Climatic data at Ang Khang Station , Chiang Mai (1975-1976)

Remark: The above data were sent from Department of Horticulture,
Kasetsart University, Thailand

が最も少い。北部では 139.2 ～ 284.2 時間、年間 2717.6 時間で、3 月が最も多く、8 月が最も少い。

3. 野生らんの分布概況

北部タイの最大都市チェンマイの空港におり立つと、空港横のラワン樹に *Dendrobium* sp. (Fig. 3) の着生が見られ、さすがらんの国タイを思わせる。郊外にはネムノキ (*Albizzia Julibrissin*) の街路樹が空高くそびえ、樹上には *Aerides* (Fig. 4) ほか数種の着生らんの姿が見られる。また付近の森には *Ascocentrum curvifolium* (Fig. 5) が切り倒された古木上で見事な花を咲かせていた。一方 *Bulbophyllum picturatum* (Fig. 6) の群生も目に付く。

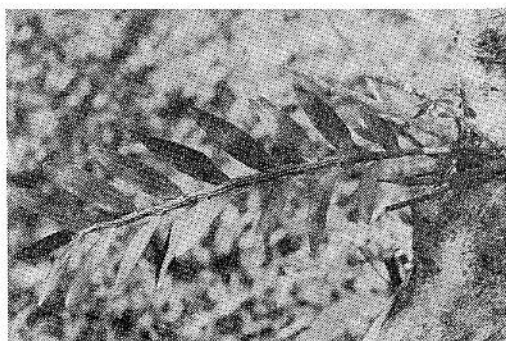


Fig. 3. *Dendrobium* sp.
epiphytic on lauan tree,
near Chiang Mai Airport



Fig. 4. *Aerides* spp.
growing epiphytic on roadside
tree (*Albizzia Julibrissin*),
in Chiang Mai city, North
Thailand

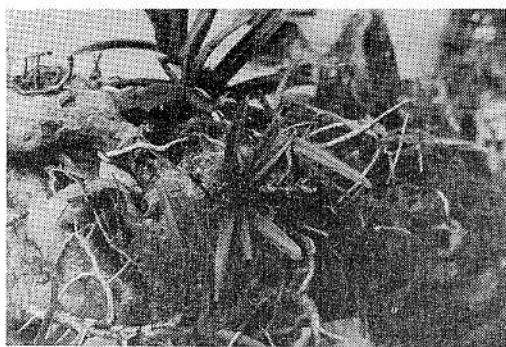


Fig. 5. *Ascocentrum curvifolium*
flowering on its host, a felled
tree, near Chiang Mai, Thailand

チェンマイ市内から標高 1700 m に位置するドイ・ステープ寺院入口に至る山道はかなり整備が行届いている。この寺院は今から約 600 年前に建てられたもので、



Fig. 6. *Bulbophyllum picturatum*
as epiphyte in Northern
Chiang Mai

タイ神話に登場する 2 匹の龍が、300 段の階段に沿う長い左右の手すりを飾っている。広大な境内に立てば 眺望はすばらしく、はるかチェンマイ盆地の雄大な景観を見渡すことが出来る。この付近一帯の樹林に入れば、樹上のそこかしこに、*Aerides falcata* (Fig.7)、*Ascocentrum* spp.(Fig.8)、*Bulbophyllum lobbii* (Fig.9)のほか、開花中の *Dendrobium aggregatum* (Fig.10)、*Den. Farmeri* (Fig.11)、*Den. infundibulum* (Fig.12) などの着生が見られた。

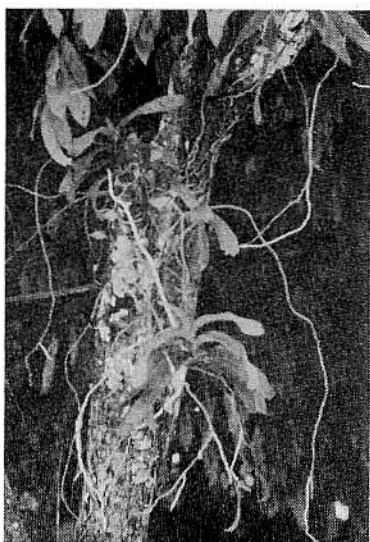


Fig.7. *Aerides falcata*
as tree-dwelling epiphyte
near Wat Phrathat Doi Suthep,
Northern Chiang Mai



Fig.8. *Ascocentrum* spp.
growing epiphytic in Doi Pui,
North Thailand

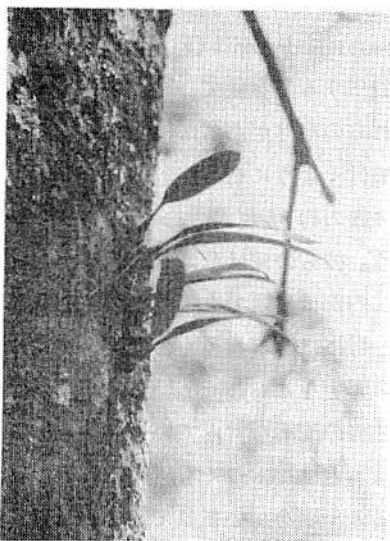


Fig.9. *Bulbophyllum lobbii*
in habitat at Doi Pui,
North Thailand



Fig.10. *Dendrobium aggregatum*
flowering epiphytic in the
mountains of Doi Pui, Northern
Chiang Mai



Fig.11. *Dendrobium Farmeri*
blooming in March
in Northern
Chiang Mai



Fig.12. *Dendrobium infundibulum*
on a jungle tree,
Northern Chiang Mai

ここから先の登り道は、道幅も狭く、薄暗い上、曲がりくねって起伏も多い。ジープは土ぼこりにまみれながら、すさまじいがたがた道をあえぎながら進み、汗とほこりと振動の苦行が続いた。道の両側にはチーク(*Tectona grandis*)、アカラワン(*Shorea negrosensis*)、クリ(*Castanea crenata*)などが林内の空間を占有している。この一帯の古木の幹や枝の上に、*Bulbophyllum* spp.(Fig.



Fig.13. *Bulbophyllum* spp.
growing epiphytic in the mountains
of North Thailand

13), *Cymbidium Finlaysonianum*(Fig.14), *Dendrobium draconis* (Fig.15)などが連なるように着生する姿を見て、思わず釘付となった。

これらの樹林がわずかに切れる辺り、山の斜面に張付くように村落が散在する。この付近にはメオ族の約95家族、約680人が生活していると言う。彼らの家は草ぶきで窓がほとんど無いので、内部は昼間でも薄暗い。ここ北部タイの高原一帯には今なお多くの史蹟が残され、民族移住の歴史をにわけている。山岳種族はそれぞれ独自の生活を営んでいるが、その暮らしは豊かな日本とは比ぶべくも無い。彼らの貧しい社会生活の一端をかいま見て、その民族衣装もさることながら、悲しきまでもその伝統に生きている姿に、一まつ哀愁を禁じ得ない。



Fig.14. *Cymbidium Finlaysonianum*
as epiphyte in the forest,
North Thailand



Fig.15. *Dendrobium draconis*
epiphytic on forest tree,
North Thailand



Fig.16. Wild orchids habitat, near
Meo village, North Thailand



Fig.17. Tropical rain forest of
North Thailand

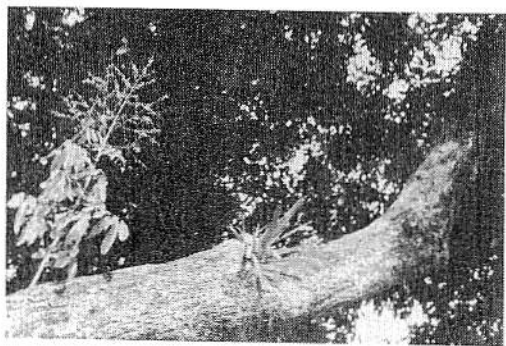


Fig.18. *Cymbidium* sp.
in jungle habitat,
North Thailand

この辺りの景色は美しく、眼下に南国の雲が流れる。周囲の山は幾重にも連なり (Fig. 16), はるかに標高 2565 m の一きわ高いドイ・インタノン山が望見出来る。周辺の森林は Fig. 17 のように、各種の樹木が混在する。樹上には *Cymbidium* sp. (Fig. 18), *Dendrobium draconis* などが着生している。Fig 19 は現地での着生らんの採取状況である。

タイの原生らんを Table 3 に 36 属, 180 種を記載した。これらはタイ全土にまたがるが、主として北方タイ、特に山岳地帯に集中して自生している。その中で *Aerides*, *Coelogyne*, *Cymbidium*, *Dendrobium*, *Paphiopedilum*, *Vanda* な

どの各属が特筆出来る。



Fig.19. *Dendrobium* spp.
gathering from its host,
near Mt. Mae Li,
North Thailand

Table 3. Wild Orchids in Thailand

Genus	Species	Distribution
<i>Acampe</i>	<i>ochracea</i>	Burma, Cambodia, India, Thailand
<i>Aerides</i>	<i>crassifolia</i>	Burma, Thailand
	<i>falcata</i>	Burma, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam
	<i>falcata</i> var. <i>houlettiana</i>	Thailand
	<i>flabellata</i>	Thailand
	<i>mitrata</i>	Burma, Thailand
	<i>multiflora</i>	Burma, Himalayas, India, Malaysia, South Vietnam, Thailand
	<i>odrata</i>	Burma, Cambodia, China, India, Laos, Malaysia, New Guinea, Philippines, Thailand, Vietnam
	<i>quinquevulnera</i>	Philippines, Thailand
<i>Anoectochilus</i>	<i>siamensis</i>	Thailand
<i>Aphyllorchis</i>	<i>caudata</i>	China (Yunnan), Thailand
<i>Arundina</i>	<i>graminifolia</i>	Thailand, Tropical Asia
<i>Ascocentrum</i>	<i>ampullaceum</i>	Burma, China, Himalayas, India, Thailand
	<i>curvifolium</i>	Burma, Himalayas, Java, Thailand
	<i>miniatum</i>	Burma, Himalayas, Indonesia, Java, Kalimantan, Malaya, Philippines, Thailand
<i>Brachycorthis</i>	<i>helpferi</i>	Thailand
<i>Bulbophyllum</i>	<i>Careyanum</i>	Burma, Himalayas, Thailand, Vietnam
	<i>lobbii</i>	Java, Kalimantan, Malaya, Philippines, Sumatra, Thailand
	<i>macranthum</i>	Australia, Java, Kalimantan, Malaya, New Guinea, Sumatra, Thailand
	<i>Medusae</i>	Kalimantan, Malaya, Thailand
	<i>picturatum</i>	Burma, Thailand
<i>Calanthe</i>	<i>cardioglossa</i>	Thailand
	<i>rosea</i>	Java, Thailand
	<i>rubens</i>	Thailand
	<i>triplicata</i>	Burma, China, India, Philippines, Thailand
	<i>vestita</i>	Burma, Indonesia, Malaysia, South China, Thailand
<i>Chiloschista</i>	<i>Iunifera</i>	Thailand
	<i>usnoides</i>	Thailand
<i>Cirrhopetalum</i>	<i>breviscapum</i>	Burma, Malaya, Thailand
<i>Coelogyne</i>	<i>cinnamomea</i>	Java, Malaya, Thailand
	<i>cumingii</i>	Kalimantan, Malaysia, Singapore, Sumatra, Thailand
	<i>Dayana</i>	Java, Kalimantan, Malaya, Sumatra, Thailand
	<i>fimbriata</i>	China, Himalayas, India, Thailand, Vietnam

Genus	Species	Distribution
Cymbidium	fuscescens	Burma, Himalayas, Thailand
	Huettnera	Burma, Thailand
	lentiginosa	Burma, Thailand
	nitida	Burma, Himalayas, Thailand, Vietnam
	ovalis	Burma, China, Himalayas, Sikkim, Thailand
	prolifera	Burma, Himalayas, Thailand
	rochussenii	Malaya, Philippines, Sumatra, Thailand
	tomentosa	Java, Kalimantan, Malaya, Thailand
	trinervis	Thailand
	virescens	Burma, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam
	viscosa	Burma, Himalayas, Thailand
	xyrekes	Malaya, Thailand
	ensifolium	China, Formosa, India, Japan, Sumatra, Thailand
	Finlaysonianum	Indonesia, Malaysia, Philippines, Thailand
	insigne	Burma, Thailand
	Lowianum	Burma, Thailand
	pendulum	Burma, India, Malaysia, Sikkim, Thailand
	siamense	Thailand
	simulans	Burma, Indonesia, South China, Thailand
Dendrobium	tigrinum	Burma, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam
	Tracyanum	Burma, Thailand
	aggregatum	Burma, Cambodia, Himalayas, Laos, Malaya, Thailand, Vietnam
	aloefolium	Java, Kalimantan, Malaya, Sumatra, Thailand
	anceps	Burma, Himalayas, Thailand, Vietnam
	Aphrodite	Burma, Thailand
	aureum	Burma, Himalayas, India, Java, Malaysia, Philippines, Sri Lanka, Thailand
	bellatulum	Burma, South China, Thailand
	bensoniae	Burma, Thailand
	Brymeranum	Burma, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam
	capillipes	Burma, China, India, Thailand
	cariniferum	Assam, Burma, Himalayas, Thailand
	chrysanthum	Burma, Cambodia, China, Himalayas, India, Laos, Thailand, Vietnam
	chrysotoxum	Burma, Cambodia, China (Yunnan), Himalayas, India, Laos, Thailand, Vietnam
	crassinode	Burma, Southeast Asia, Thailand
	crepidatum	Assam, Burma, Cambodia, China, Himalayas, Laos, Thailand, Vietnam
	cruentum	Burma, Malaya, Thailand
	crystallinum	Burma, Cambodia, Himalayas, Laos, Thailand, Vietnam
	delacurii	Cambodia, Laos, Lower Burma, Thailand, Vietnam
	densiflorum	Assam, Burma, Himalayas, Nepal, Thailand
	Devonianum	Burma, Cambodia, Himalayas, Laos, Thailand, Vietnam
	dixanthum	Burma, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam
	draconis	Burma, Cambodia, Laos, Thailand, The rest of Southeast Asia

Genus	Species	Distribution
	Falconeri	Assam, Burma, Himalayas, Thailand
	Farmeri	Burma, Himalayas, Malaya, Thailand, The rest of Southeast Asia
	fimbriatum	Burma, Cambodia, Himalayas, Laos, Nepal, Thailand, Vietnam
	fimbriatum var. oculatum	Burma, Himalayas, Thailand
	Findlayanum	Southeast Asia(Including Burma), Thailand
	formosum	Burma, Himalayas, Thailand
	formosum var. giganteum	Thailand
	Friedricksianum	Thailand
	gratiosissimum	Burma, Thailand
	Hildebrandii	Burma, Himalayas, Malaya, Thailand
	infundibulum	Burma, Thailand
	leonis	Kalimantan, Malaya, Sumatra, Thailand
	linguella	Malaysia, Thailand
	lituiflorum	Assam, Burma, Himalayas, Thailand, Tibet
	margaritaceum	Thailand, Vietnam
	moschatum	Burma, Himalayas, India, Laos, Thailand
	nobile	Burma, Himalayas, Laos, South China, Thailand
	palpebrae	Burma, China, Thailand
	Parishii	Burma, Cambodia, China(Yünnan), Laos, Thailand
	Pierardii	Burma, Cambodia, Himalayas, Laos, Malaysia, Thailand, Vietnam
	primulinum	Burma, China, Himalayas, Indonesia, Malaysia, Thailand, Vietnam
	pulchellum	Burma, Cambodia, Himalayas, Laos, Malaysia, Thailand, Vietnam
	revolutum	Burma, Laos, New Guinea, Thailand
	scabrilingue	Burma, Malaya, Thailand
	secundum	Burma, Cambodia, Himalayas, Indonesia, Kalimantan, Laos, Malaysia, Philippines, Sumatra, Thailand, Vietnam
	senile	Burma, Laos, Thailand
	sutepense	Thailand
	tortile	Andaman Islands, Burma, Malaysia, Thailand, Vietnam
	trigonopus	Burma, China(Yünnan), Laos, Thailand
	unicum	Burma, Thailand
	Williamsonii	Burma, Himalayas, India, Thailand
Doritis	pulcherrima	Burma, Cambodia, Laos, Malaysia, Sumatra, Thailand, Vietnam
	pulcherrima var. buyssoniana	Thailand
Eria	coronaria	Burma, China, Himalayas, Thailand
Eulophia	keithii	Thailand

Genus	Species	Distribution
Gastrochilus	bellinus dasypogon	Burma, Thailand Himalayas-Thailand
Grammatophyllum	speciosum	Java, Kalimantan, Malaysia, New Guinea, Philippines, Sumatra, Thailand
Habenaria	carnea columbae dentata medioflexa rhodocheila	Malaya, Thailand Laos, Thailand Cambodia, China, India, Laos, Thailand, Vietnam Thailand Burma, Cambodia, Laos, Malaysia, South China, Thailand, Vietnam
Paphiopedilum	angthong Appletonianum barbatum bellatulum callosum concolor Delenatii esquirolei exul Godefroyae hirsutissimum niveum Parishii sukhakulii villosum	Thailand Assam, Thailand Java, Malaya, Sumatra, Thailand East Burma, India, Malaya, Thailand Cambodia, Thailand Burma, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam Thailand, Vietnam Thailand Peninsular Thailand Lower Burma, Malaysia, Peninsular Thailand, South Vietnam Assam-Burma, Himalayas, Thailand Malaysia, Thailand Burma, India, Malaya, Thailand Thailand Assam, Burma, India, Kalimantan, Thailand
Phaius	Tankervilliae	Burma, Cambodia, China, India, Laos, Malaysia, Pacific Regions, Thailand-Australia, Vietnam
Phalaenopsis	cornu-cervi decumbens Parishii sumatrana	Burma, Indonesia, Java, Kalimantan, Peninsular Malaya, Sumatra, Thailand Burma, Cambodia, Indonesia, Malaysia, Philippines, Sri Lanka, Thailand, Vietnam Assam, Burma, Thailand Java, Kalimantan, Malaya, Sumatra, Thailand
Pomatocarpa	spicata	Thailand
Renanthera	coccinea histrionica Imschootiana isosepala matutina	Burma, Cambodia, India, Laos, South China, Thailand, Vietnam Thailand Assam, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam Thailand Java, Malaya, Sumatra, Thailand

Genus	Species	Distribution
Rhynchosstylis	coelestis	Thailand
	gigantea var. harrisonianum	Thailand
	gigantea var. petotianum	Thailand
	gigantea var. rubrum	Burma, Laos, Thailand
	retusa	Burma, Cambodia, India, Kalimantan, Laos, Malaysia, Philippines, Sri Lanka, Thailand, Vietnam
Robiquetia	paniculata	Thailand
	spathulata	Thailand
Sarcanthus	appendiculatus	Thailand
	kunstleri	Thailand
	pallidus	Burma, Himalayas, Laos, Thailand, Vietnam
Seidenfadenia	mitratum	Thailand
Spathoglottis	lobbii	Burma, Cambodia, Laos, Thailand, Vietnam
	plicata	India, Indonesia, Malaysia, Philippines, Thailand
	pubescens	Java, Malaya, Thailand
	spicata	Thailand
Staurochilus	Dawsoniana	Burma, Thailand
	fasciatus	Southeast Asia, Thailand
Tainia	Hookeriana	Burma, Sikkim, Thailand
Thunia	alba	Burma, North India, Thailand
Trichoglottis	Dawsoniana	Thailand
	fasciata	Cambodia, Laos, North Malaysia, Philippines, Sumatra, Thailand, Vietnam
Vanda	Amesiana	Burma, India, Thailand
	bensoni	Burma, Thailand
	brunnea	Burma, Thailand
	coerulea	Burma, Himalayas, India, Thailand
	coerulescens	Burma, Thailand
	Denisoniana	Burma, Thailand
	Hookerana	Kalimantan, Malaysia, Sumatra, Thailand
	kimballiana	Burma, South China, Thailand
	lilacina	Cambodia, Laos, Thailand
	Parishii	Burma, Cambodia, Java, Laos, Thailand, Vietnam
	parviflora	Burma, Himalayas, India, Sri Lanka, Thailand
	pumila	Himalayas, Sikkim, Thailand
	teres	Burma, Himalayas, Laos, Thailand
Vandopsis	gigantea	Burma, Malaysia, Thailand
	lissochiloides	Indonesia, Moluccas, Philippines, Thailand

4. タイの主要野生らん

Acampe ochracea

属名は *akampe* (曲がりにくい) に由来し、花が柔軟でなく、たやすく砕けやすいことによる。種小名は黄土色の意味。着生種。葉は細長く、先端は斜めに2裂する、長さ約25cm。総状花序は葉より長く伸びる。花は赤色地にかっ色、ろう質、芳香がある。唇弁は舌状で中央が裂ける。花期は3～4月。

タイ国内の自生地 (Fig.1 参照) : チェンマイ、ナコンサワン、ナコンナヨーク、サコンナコン、チャンタブリー、トラート、ラノー。

Aerides falcata var. *houlettiana*

属名は *aēr* (空気) と *eidos* (似る) に由来し、着生する性質と大気から栄養分を吸収するところから。種小名は鎌形の意味。着生種。茎は直立し約2mの高さになる。葉は厚肉、細長い舌状、長さ30cm。花茎は長さ約50cm、下垂または弓形に曲がり、多数の花をつける。がく、花弁は長だ円形、ろう質、明黄色で先端にふじ色のはん点がある。唇弁の中裂片の縁が鋸歯状となる、先端部はすみれ色。花期は4～5月。

自生地 : メホーンソーン、ラムパン、チェンマイ、スコタイ、ナコンラーチャシーマー、ナコンナヨーク、チョンブリー、カンチャナブリー。

Aphyllorchis caudata

属名は *aphyllos* (葉が無い) と *orchis* (丸い塊根を形容) から。種小名は尾状の器官のあるの意味、細長く伸びる花弁による。落葉性の地生種。茎は細く直立。根は水平に群がり、腐葉土から養分を吸収する。総状花序で多数の花をつける。がく片に紫色のはん点があり、花弁は幅狭く白色で紫色の脈がある。唇弁は基部で2裂し、先端が3裂する。ずい柱は先端の幅が広い。花期は9～10月。

自生地 : チェンマイ。

Ascocentrum curvifolium

属名は *askos* (かわ袋) と *kentron* (とがった端) の2語から。種小名は曲線を描く葉の意味。着生種。草たけは13～25cm。葉は湾曲し厚肉、淡緑色、紫色のはん点が散在する、長さ15～20cm。総状花序は直立、長さ20～25cm、多数の花をつける。花径2.0～2.5cm、花色は赤地にだいたい色を帯びる。約2週間咲き続く。花期は3～4月。

自生地 : チェンマイ、メホーンソーン、チョンブリー、カンチャナブリー。

Asctm. miniatum

種小名は小形の意味。着生種。草たけ約30cm。葉は肉厚、暗緑色、長舌形、先は不整で2裂、長さ約10cm。花茎は直立し2本以上、高さ約12cm、多数の小花をつける。花はだ円形、濃い黄色または明るいオレンジ色、径約1.6cm。花芽分化は一般に低温で乾燥する12～2月に開始する。約2週

間咲き続ける。花期は2～4月。

自生地：チェンマイ、スコータイ、チャイヤプーム。

Calanthe triplicata

属名はkalos（美しい）とanthos（花）より、花の美しさをさしている。種小名は3つのひだのあるの意味。約1mの高さになる地生種。葉は長だ円形で先がとがる、長さ約50cm 幅約10cm。花茎は茎の上部から出て大きく四方に広がる。花は白色で先端は緑色を帯びる。唇弁は3裂、基部はオレンジ色。花期は6月。

自生地：チェンマイ、ペチャブーン、ルーイ、ナコンラーチャシーマー、ナコンナヨーク、チャンタブリー、トラート、カンチャナブリー、ナコンシータムマラット、パッタニー、サムイ島、クラビ、サトゥーン。

Chiloschista lunifera

属名はCheilos（唇弁）とschistos（裂目）より、2裂の唇弁に由来する。種小名は月のようなの意味。着生種。根は多く曲がりくねって伸びる。総状花序は下垂し、長さ10cm。花は淡緑色に薄い黄色が混じる。径約1cm。唇弁は3裂。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、ラムパン、ターク、チャイヤプーム、ルーイ、ナコンラーチャシーマー、ペッチャブリー、プラチュアブキリーカーン、クラビ、ヤラー。

Coelogyne viscosa

属名はkoilos（くぼみ）とgynē（雌）より、柱頭の深くくぼみをさす。種小名はビスコースの意味。着生種。偽球茎は紡錘形。葉は長さ約30cm、幅約2cm、先がとがる。花茎は直立またはアーチ形に伸び、3～7輪の白色の芳香ある花をつける。花は径約3cm。唇弁の中央に黄色の大きなはん点がつく。花期は1～3月。

自生地：チェンマイ。

Cymbidium ensifolium

属名はkymbē（舟）とeidos（形）に由来し、唇弁の形に基づく。種小名は剣形の葉の意味。地生種。葉は立ち、長さ50～80cm、幅2～4cm、堅くて先がとがる。花茎は直立し、高さ約60cm、芳香のある黄緑地にかっ色の花を15～18輪つける。花は径約6cm。唇弁の中央の裂片は幾分湾曲し、赤色地にかっ色の大きなはん点がある。花期は1～5月。

自生地：チェンマイ。

Cym. simulans

種小名は擬態の意味。着生種。偏平で長方形の偽球茎を持つ。葉は4～5枚、細長く、長さ約50cm、幅3cm。花茎は長さ60cmで下垂し、約30輪の花をつける。花は黄色から赤色地のかっ色に変化する。唇弁の下半分は明黄色、側かく片は先がとがり、紫色の筋がある。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、チャンタブリー、ナコンナヨーク、クラビ。

Cym. *Tracyanum*

種小名は人名 A・H・Tracey にちなむ。地生種。幾分偏平で卵形の偽球茎を持つ。葉は堅く、線形で長さ70～90cm。花茎は葉より長くアーチ形に伸び、15～20輪の花をつける。花は径10～12cm。緑色を帯びた黄色で、かっ色のはん点と筋がある。唇弁は3裂する。花期は10～11月。

自生地：チェンマイ。

Dendrobium chrysotoxum

属名は *dendron* (樹木) と *bios* (生活) より、樹木に着生することによる。種小名はキクの香の意味。着生種。茎は長い紡錘形、草たけ約30cm、径約4cm、古くなると黄みを帯びる、中央が幾分太い。葉は頂部に6～7枚つき革質、長だ円形、長さ12～18cm、幅3～5cm。花茎は長さ約30cm、アーチ形で下垂し、15～20輪の香りのある鮮黄色の花をつける。花径約3.7cm。唇弁の中央は黄かっ色になり、縁は鋸歯状。約2週間咲く。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、メホーンソーン、ラムパン、ルーイ、ナコンパノム、カンチャナブリー。

Den. crassinode

種小名はふくらんだ節の意味。下垂する偽球茎をさす。着生種。茎はバーベル形で長さ30～45cm。葉はひ針形で先は2裂、長さ約12cm。茎の上部の各節の短い花茎に2～3輪の花がつく。花径は5～6cm、がく片及び花弁は白色で先端は紫色。唇弁は基部が暗黄色。花期は2～4月。

自生地：チェンマイ。

Den. densiflorum

種小名は花が密につくの意味。着生種。偽球茎は丸みのある4りょう角、長さ10～40cm。葉は緑色、3～5枚、長方形で先がとがる、長さ8～15cm。総状花序は茎の最頂部から出て、花が密につき下垂する、長さ約20cm。花色は黄色または白色。唇弁はオレンジ色。標高1000m以下の低地では生育が良くない。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、ルーイ。

Den. draconis

種小名は龍のようなの意味。着生種。茎は棒状、長さ30～40cm。葉は不整のひ針形、先端は2裂、革質、長さ5～10cm。花茎は頂部の節につく、短い、径約5cmの花が2～5輪つく。がく及び花弁は光沢のある白色、先は細く、幾分曲がる、長さ3～4cm。唇弁の基部はオレンジ色。開花は3週間続く。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、メホーンソーン、チャイヤプーム、ルーイ、ウボンラチャターニー、ウドンターニー、プラチンブリー、カンチャナブリー。

Den. Farmeri

種小名は人名 Farmer による。着生種。茎は4りょうの紡錘形、草たけ約30cm。葉は3～4枚、丸みのあるひ針形、なめらかで薄い、長さ10～15cm、幅3～5cm。総状花序は茎の上部より出て、

約20輪の白花をゆるくつけ、下垂する。長さ約25cm。花は径約4cm、丸みがある、がくと花弁が重なる。唇弁はオレンジ色を帯びた黄色。花期は2月。

自生地：チェンマイ、チャンタブリー、カンチャナブリー、ラノーン、パンガー。

Den. fimbriatum

種小名はぎざぎざのへりがあるの意味。着生種。茎は細く、ほぼ直立、高さ60～120cm。葉はひ針形、長さ10～15cm、幅3～4cm、革質。花茎は通常茎の上部の節に生じ、橙黄色の花を約15輪つける。花径約4cm。唇弁は縁がぎざぎざになる。変種 *oculatum* は唇弁の奥に黒かっ色の大きなはん点がある。花期は2～3月。

自生地：チェンマイ、チェンライ、ナコンパノム、カンチャナブリー。

Den. Findlayanum

種小名は人名 Findlay による。着生種。茎は各節の上部が肥大してふくらみ、下部は小さくなる、高さ約50cmで直立する。葉は長だ円形で、長さ8～15cm。花は茎の上部の節から出る短い花茎に2～3輪つける。花径7.5cm、花色は青白色を帯びたふじ色。唇弁は中心が薄い紫色がかかる濃黄色で、外側に向って青白くなる。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、メホーンソーン ラムパン。

Den. Friedrichsianum

種小名は人名 Friedrich から。着生種。茎は幾分直立、長さ50～75cm、径2.5cm。葉は長さ10cm。花茎は黄色がかった花を3～4輪つける。花径約5.6cm。唇弁はうろこ形、基部は濃黄色で1対の暗かっ色のはん点がある。開花期間は長く、5週間にわたる。花期は2～3月。

自生地：ナコンラーチャシーマー、チャンタブリー、チョンブリー。

Den. Hildebrandii

種小名は人名 Hildebrand による。着生種。茎は高さ約60cm、湾曲しやすい。葉は革質、ひ針形で落葉性、長さ約10cm。花茎の各節に2～4輪ずつの花をつける。花は通常緑がかった白色、芳香がある。唇弁は球状で内部は黄色。花期は2～3月。

自生地：チェンマイ、ラムパン、ベチャブーン。

白花種：茎は幾分長く、節間のふくらみは無い。花は前者に類似するが、唇弁に赤みのはん点がある。

Den. infundibulum

種小名は漏斗状の意味、唇弁の形による。着生種。茎は棒状で細長い、高さ約60cm、径約1cm。葉はおおむねひ針形、淡緑色で柔軟、長さ約8cm。短い花茎に白色の花が1～2輪つく。花弁は薄い、唇弁の基部に明るいオレンジ色のはん点がつき、先端は鋸歯状。花は1か月以上咲き続ける。花期は1～3月。

自生地：チェンマイ、ナン、カンチャナブリー。

Den. Parishii

種小名は人名 Parish にちなむ。着生種。茎は棒状でいくらか下垂する、約30cmの高さになる。葉は長だ円形、肉厚、長さ7～12cm、落葉性。総状花序に多数の花がつく。花は径4～5cm。芳香がある、紫色を帯びる。唇弁は漏斗状、中心は紫色で外側に向って白色になる。花期は3～5月。

自生地：チェンマイ、メホーンソーン、プレー。

Den. primulinum

種小名はプリムラに似るの意味。着生種。茎は円筒状、節は幾分ふくらむ、湾曲し多少下垂、長さ約30cm。葉は長だ円形、革質、先は丸みがあり、形は不整、長さ約10cm、落葉性。花は通常各節に1～2輪つく。花径約5cm、芳香がある、明るいふじ色。唇弁は丸く、くぼみがある、明黄色で紫色の筋がある。花期は1～3月。

自生地：チェンマイ、ルーイ、カンチャナブリー、ラノーン。

Den. secundum

種小名は片側だけに生じるの意味、花茎の片側だけに花がつくところから。着生種。茎は棒状で直立、長さ約60cm、径約2cm。葉は厚みのあるひ針形、長さ10cm、花芽が出来始める低温乾燥期の初めに落葉する。花茎は最上部の節から出て、片方だけに多数の花をつける、長さ5～10cm。花は長さ約2cm、幅約0.6cm、鮮桃紫色。唇弁は幅狭く、内部は1部がオレンジ色を帯びる黄色。開花期間は短い。花期は2～4月。

自生地：チェンマイ、メホーンソーン、ノーンカイ、チャンタブリー、ラノーン、パンガー、テルタオ島、サトウーン、ナコンシータムマラット、トラン。

Den. senile

種小名は老齢のために起こるの意味、葉などが白い毛でおおわれていることに由来する。着生種。茎は紡錘形、長さ5～10cm。葉は革質、倒卵形、長さ約6cm。花は花茎の先の各節に1～2輪つく、ろう質、芳香がある、径約4cm、花柄は長い、がく、花弁は均整のとれた形で黄色。唇弁はスパーード状、周囲は黄色、中心は黄緑色、基部にかっ色の横筋がある。花期は1～3月。

自生地：チェンマイ、ルーイ、ラノーン、ピッサヌローク。

Den. tortile

種小名は曲がったという意味。着生種。茎は棒状、直立、縦みぞがある、高さ30～37cm。葉は落葉性、線形で湾曲する、長さ約10cm。総状花序は葉の無い茎先の節に2～3輪のグループでつく。がく、花弁は幅狭くねじれる、径7cm、青白色を帯びたふじ色、芳香がある。唇弁はスプーン形、レモン色、基部に向って紫色の筋がある。花期は1～2月。

自生地：カンチャナブリー、ラノーン、パンガー。

Gastrochilus bellinus

属名は *gastēr* (腹) と *cheilos* (唇) より、袋状の唇弁による。種小名は美しい様子の意味。

着生種。茎は短く、高さ5～6cm。葉は6～8枚、長だ円形、先端は不整で2裂する、長さ約20cm、幅約3cm。花茎は短く、芳香のある花を4～7輪つける。ろう質、花径約3cm、がく、花弁は比較的厚みがある、薄い黄緑色で、きわ立った濃紫色のはん点がある。唇弁は縁がぎざぎざ、白色で中央は濃黄色。花期は1～3月。

自生地：チェンマイ。

Habenaria dentata

属名は *habēna*（革ひも）より、唇弁の裂片が細く、革ひも状をしているところから。種小名は葉の周辺にぎざぎざがあるの意味。地生種。茎の高さ約10cm。葉はだ円形で先端とがる、長さ10～15cm。花茎は直立、高さ25～30cm、白花を多数つける。唇弁は大きく発達し繊細に切れる。花期は10月。

自生地：チェンマイ、カムペーンペット、ルーイ、ナコンラーチャシーマー、サラブリー、チャントブリー、チュムポーン、ペッチャブリー。

Paphiopedilum bellatulum

属名は *paphia*（ピーナス）と *pedilum*（上ぐつ）より、唇弁がスリッパ状のため。種小名は姿などが愛らしいと言う意味。地生種。石灰岩地帯に自生する。葉はだ円形、不ぞろいで先端が切れ込む、人目を引くまだらな紫色のはん点がある、長さ12～20cm、幅4～6cm。花は1～2輪で径5～7cm、丸くてコンパクトな形、白色で多数の暗紫色のはん点がつく、上がく片は幅7cm。唇弁は卵形。花期は4～5月。

自生地：チェンマイ、パンガー。

Paph. callosum

種小名は堅くなるの意味。地生種。葉はひ針形、はん点がある、長さ約23cm、幅約4cm。根ざわから出る花茎は比較的長くて高さ約35cm、径約8cmの単一花をつける。上がく片は白色で基部は緑色、先に向って紫色の筋があり、長さ約4.5cm、幅約5.6cm、縁は湾曲する、花弁は基部が緑色で先は紫色、上方の縁に暗紫色のいぼがある。唇弁は袋状で紫色。花期は4～5月。

自生地：チェンマイ。

Paph. concolor

種小名は同色の意味。地生種。葉はだ円形、表面は緑色のはん点のある青白いグリーン、裏面は紫色、長さ約15cm、幅約4cm。花茎は長さ約10cm、2～3輪の花をつける。花径約5cm、花色は青白色を帯びた黄色で、ごく小さい紫色がかったはん点がある、上がく片はくぼみがあり、長さ幅共約3cm、花弁は幾分長くて狭い。開花期は年間にわたるが、とりわけ4～5月。

自生地：サラブリー、プラチンブリー、カンチャナブリー、プラチュアブキリーカーン、チュムポーン。

Paph. exul

種小名は枝葉の繁茂するの意味。地生または岩生種、岩の裂目に生育する。葉はひ針形、光沢ある緑色、長さ25cm、幅2cm。花茎は比較的長い、軟毛がつく、長さ約7cmの単一花をつける。上がく片は緑がかった黄色、かっ色のはん点があり、縁に向って白色、下がく片は内側に湾曲し、かっ色を帯びた黄色。唇弁は袋状でかっ色がかかった紫色。花期は2～5月。

自生地：チュムポーン ラノーン クラビ。

Paph. Godefroyae

種小名は人名 Godefroy より。地生または岩生種、岩の裂目に自生する。葉は長方形、表面はまだらな緑色、裏面は紫色、長さ約10cm、幅約3cm。花茎は比較的短い、径約8cmの花を2輪つける。クリーム色がかかった白色、上がく片に紫色の筋がある、花弁には大きさの異なる紫色のはん点がある。唇弁は袋状。花期は12～7月。

自生地：チュムポーン。

Paph. hirsutissimum

種小名は堅くて長い毛が多くあるの意味。地生または岩生種。葉は帯状、長さ30cm、幅2.5cm。根ざわりより出た花茎は高さ約30cm、紫色の微毛でおおわれる。単一花で径約10cm、上がく片は紫色で縁は緑色、幅広く卵状、花弁はねじれ、内部は紫色。外側は赤みがかった紫色。唇弁は袋状で紫色を帯びた緑色。花期は3～4月。

自生地：チュムポーン。

Paph. Parishii

種小名は人名 Parish にちなむ。着生種。葉はひ針形、肉厚く光沢ある緑色、長さ約40cm、幅約4cm。花茎は高さ50～60cmで、3～7輪の花をつける。花は長さ約11cm、幅約8cm、上がく片は黄色がかった緑色で、暗緑色の筋がある。花弁はリボン状にねじれながら下垂する、縁に黒紫色のいばがあり毛が生じる、長さ約8cm、幅1.3cm。唇弁はスリッパ形、緑色、縁に紫色がかかった色合をつける。花期は6～7月。

自生地：ターク カムペーンペット、カンチャナブリー。

Phaius Tankervilleae

属名は *phaios* (暗色の) より、花色が暗かっ色であるため。種小名は大形の葉の意味。地生種。偽球茎は株立 緑色で高さ1.5m。葉はひ針形、長さ約90cm、幅8～12cm。総状花序は茎の基部から生じ、大形で直立する、高さ1.2m 上部に10～20輪の花をつける。花茎約10cm。がく、花弁は比較的狭く、外側が白色、内側は赤みがかったかっ色。唇弁は幾分丸みがあり、内側は暗紫色。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、ペチャブーン ルーイ。

Phalaenopsis cornu - cervi

属名は *phalaina* (蛾) と *opsis* (似る) より、基本種の花が熱帯産の蛾に似ているところから、わが国ではこちょうらんと呼んでいる。種小名は鹿の角の意味。着生種。葉は長だ円形、肉厚、長さ約24cm、幅5cm。花茎は長さ約40cm、分枝し横方向に伸びる。芳香ある花が偏平部に2列に並ぶ、がく及び花弁は緑色がかった黄色で、かっ色のはん点及びしまがあり、幅が狭く先がとがる。花は長さ3.8cm、幅約3cm。唇弁は小さく青白がかった黄色、中央にオレンジ色のはん点がある。花は数か月咲き続く。花期は主として6月。

自生地：チェンマイ、メホーンソーン、チェンライ、ラムパン、スリン、ナコンナヨーク、プラチンプリー、チャンタブリー、チョンブリー、トラート、カンチャナブリー、スラットターニー、パッタニー、サトウーン。

Rhynchostylis coelestis

属名は *rhygchos* (くちばし) と *Stylos* (ずい柱) の2語からなり、ずい柱の形から。種小名は青色がかったの意味。着生種。茎は革質。草たけ約20cm。葉は密につく、内側に幾分折れてとい状になる、長さ約22cm、幅約3cm。総状花序は直立、高さ20～25cm、紫青色の花を約50輪つける。花は芳香があり、径1.3～2.0cm。唇弁は基部が白色、先はあい色を帯びた青色、上方に湾曲し、ずい柱をおおう。花期は4～6月。

自生地：チェンマイ、ナコンパノム、ナコンラーチャシーマー、チョンブリー、カンチャナブリー、プラチュアブキリーカーン。

Rhy. gigantea

種小名は巨大な意味。着生種。草たけ約10cm。葉は厚肉、広線形、緑色に濃淡がある、長さ25～30cm、幅5.0～7.5cm。総状花序は茎の下部より生じ、長さ約35cm、密に着花し下垂する。花はろう質で芳香があり、径は2.5～3.8cm、がく、花弁は品種によって赤色または白色がある。唇弁は卵状のへら形。

var. *rubrum* : 葉は紫がかかる。花は深紅色。約2週間咲く。花期は1月中旬～2月。

自生地：チェンマイ、ナコンサワン、チャイナート、ルーイ、サコンナコン、ナコンラーチャシーマー。

var. *harrisonianum* 及び var. *petotianum* はいずれも花は白色。その他の点は var. *rubrum* に類似。

Rhy. retusa

種小名は葉の先端が丸くて少しくぼんだ形の意味。着生種。茎は丈夫、草たけ約60cm、長くて肉厚の白い根を伸ばす。葉は幅広い線形、しばしば青白い縦じまがあり、アーチ状になることもある、薄い緑色、不ぞろいで先端は鋸歯状、長さ25～30cm。総状花序は茎の基部より生じ、長さ30～50cmで長く下垂する、約140輪が密に並び魅力ある円柱状を呈す。花は小形、すみれ色、ろう質、径約2cm。唇弁は紫色、基部は狭い。各花は通常2週間咲く。花期は4～5月。

自生地：チェンマイ、メホーンソーン、ラムパン、ブリーラム、ウボンラチャターニー、チャンタブリー、チョンブリー、ソンクラー、トラン、ナコンシータムマラット、スラットターニー。

Staurochilus Dawsoniana

属名は *stauros* (十字架) と *cheilos* (唇) より、唇弁の側辺の裂片が十字架のように見えるところから。種小名は人名 Dawson にちなむ。着生種。茎は直立、高さ約60cm。葉は先が2裂、長さ12cm、幅2.5cm。花茎は分枝、長さ約40cm、花は多数つく。花径約3cm、がくと花弁は緑色を帯びた黄色で、内側に赤みがかったかっ色のはん点がある。唇弁はかっ色、5裂しかっ色の毛がつく。花期は4～5月。

自生地：チェンマイ。

Stau. fasciatus

種小名は束になって生えるという意味。着生種。葉は縁が波形にうねる、先は2裂、長さ10～12cm。花茎は直立、4～6輪つく。花径約5cm、がく、花弁は外側が白色で内側は明るいかっ色を帯び、黄色の横じまがある。唇弁は3裂する。花期は3～4月。

自生地：ラムパン、スコタイ、ターク、ノーンカイ、サラブリー、チョンブリー、テルタオ島、ラノーン。

Thunia alba

属名はらん収集家 Count von Thun Hohenstein にちなむ。種小名は白色の意味。地生種。葉はひ針形、表面は明緑色、裏面に白い粉状のものがつく、長さ15～35cm、幅3cm。花茎は茎の頂部より生じ、花径は5～6cm、がく、花弁は白色または薄い紫色。唇弁は鈴の形で、内側は黄金色。花期は6～7月。

自生地：チェンマイ、ナコンナヨーク。

Vanda brunnea

属名はその基本種のサンスクリット語 *Vandaka* による。樹木に着生することから。種小名はかっ色の意味、その花色から。着生種。葉は細長く密につき湾曲する、長さ約17cm、幅約2.5cm。花茎は長さ40～60cmで10～15輪の小形の花をつける、花柄は長さ約5.6cm。花径は4cm、がく、花弁は外側が明かっ色、内側はかっ色から紫かっ色、縁は波状、花弁は湾曲し小さなはん点がある。花期は3～4月。

自生地：チェンマイ、ラムプーン、チャイヤブーム、ナコンラーチャシーマー、スリン。

V. coerulea

種小名は青色の意味。着生種。茎は約1mの高さになる。葉は黄色を帯びた緑色、厚くて短い、革ひも状で先に不ぞろいの刻み目がある、長さ約15cm、幅約2.5cm。総状花序は長さ30～50cmで10～15輪つける。花径は8～10cm、がく、花弁は倒卵形またはへら状、色は明青色から淡紫色がかった青色または桃色に変る、花弁は基部でねじれる。唇弁は小形で紫青色。花は3週間咲く。花期は

周年であるが、ピークは8月。

自生地：チェンマイ。

V. Denisoniana

種小名は人名 Denison にちなむ。着生種。葉は革質、線状で茎全体に2列になって密につく、長さ約25cm、幅約2.5cm、弧状で先は2裂する。花茎は葉えきより生じ短く、約8輪が密につく。花は径6～7cm、ろう質、芳香がある、花色は変化に富み、象牙色、薄い黄緑色、黄金色、黄かっ色、銅色に変わる、がく、花弁はだ円状で幾分湾曲する。唇弁は長くて中央が広がり2裂する。花期は1～3月。

自生地：メホーンソーン、チェンマイ、チェンライ、ナン。

V. lilacina

種小名はライラック色の意味。着生種。葉は細長く不ぞろいで先は2裂、長さ約12cm。花茎は上方の葉えきから出て、直立、約20輪の花をつける。花径は約2cm、がく、花弁はしばしば重なり、白色で縁はふじ色。花期は1～3月。

自生地：チェンマイ、ラムパン、スコータイ、ルーイ、ナコンラーチャシーマー、プラチンブリー、カンチャナブリー、ラチャブリー。

V. Parishii

種小名は人名 Parish にちなむ。着生種。茎は長さ約20cm。葉は長だ円形、先は2裂、長さ約20cm、幅約6cm。花茎は直立またはアーチ状、長さ約30cm、6～12輪が2列に並ぶ。花は径5～6cm、芳香がある、がく、花弁は厚みがあり、幅広く重なる、緑色を帯びた黄色で、かっ色の大きなはん点が鮮明につく。唇弁は小形、ばら色がかった赤色の裂片がある。花期は3～5月。

自生地：チェンマイ、サコンナコン、ウボンラチャターニー。

Vandopsis gigantea

属名は Vanda (バンダ属) と ophis (似る) より、Vanda に似ているところから。種小名は巨大な意味。茎は比較的短く、めったに30cm以上にならない。葉は舌形、反転する、革質、不ぞろいで先は2裂、長さ約40cm、幅5～7cm。総状花序は7～15輪をつけ下垂する。花径は約7cm、がく、花弁は幅広く厚みがあり、黄色で内側に赤みを帯びたかっ色の大きなはん点がある、がく片の外側はすみれ色を帯びた赤色。唇弁は白色がかり、紫色の点があり中央部が隆起する。花期は4～6月。

自生地：カンチャナブリー、パンガー、テルタオ島、トラン、ピッサヌローク。

あ と が き

タイ国は高温多湿で、特に着生らんの生育に好適の気象条件を有している。加えて労賃が安く、土地価格も比較的低廉なため、そのコストはわが国の1～2割といわれる。従って生産量は著しく多く、そのうえかなりの山取りらんが市場に出回っている。Fig. 20 はバンコクの Thonglor Orchid

ds Nursery における Vanda の栽培状況である。

わが国がタイ国より輸入するらんの数量は、Dendrobium, Vanda などを中心に、輸入らん全体の約50%に達している。このコスト差がある限り、輸入量は増加することはあっても、減少することはないと推測出来る。

わが国においては上述のような原生地の環境条件、その特性に基づく栽培もさることながら、低、中温適応性らんの検討も必要であろう。



Fig.20. Vanda spp.
blooming in March,
at the Thonglor Orchids
Nursery, Bangkok,
Thailand

引用文献

1. BRO. AMNUAY PINRATANA (1983) Flowers in Thailand. Nature series 10: 1-56.
2. HARUYUKI KAMEMOTO and RAPEE SAGARIK (1975) Beautiful Thai orchid species. The Orchid Society of Thailand 1: 11-98.
3. Technical Service Club (1983) The Hill Tribes of Thailand. Tribal Research Centre, Chiang Mai, 1-25.
4. 山田晴美編 (1975) 園芸植物学名辞典, 農業図書株式会社 東京, 2-335.